

LM・成長国ブルーチップ社債ファンド (毎月分配型／為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第30期 (決算日2015年4月6日) 第31期 (決算日2015年5月7日) 第32期 (決算日2015年6月5日)
第33期 (決算日2015年7月6日) 第34期 (決算日2015年8月5日) 第35期 (決算日2015年9月7日)

作成対象期間 (2015年3月6日～2015年9月7日)

第35期末 (2015年9月7日)	
基準価額	11,575円
純資産総額	356百万円
第30期 ～ 第35期	
騰落率	△3.6%
分配金 (税込み) 合計	480円

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書 (全体版) に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書 (全体版) は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書 (全体版) は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書 (全体版) の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書 (全体版) を閲覧及びダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・成長国ブルーチップ社債ファンド (毎月分配型／為替ヘッジなし)」は、2015年9月7日に第35期の決算を行いました。

当ファンドは、信託財産の中長期的成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

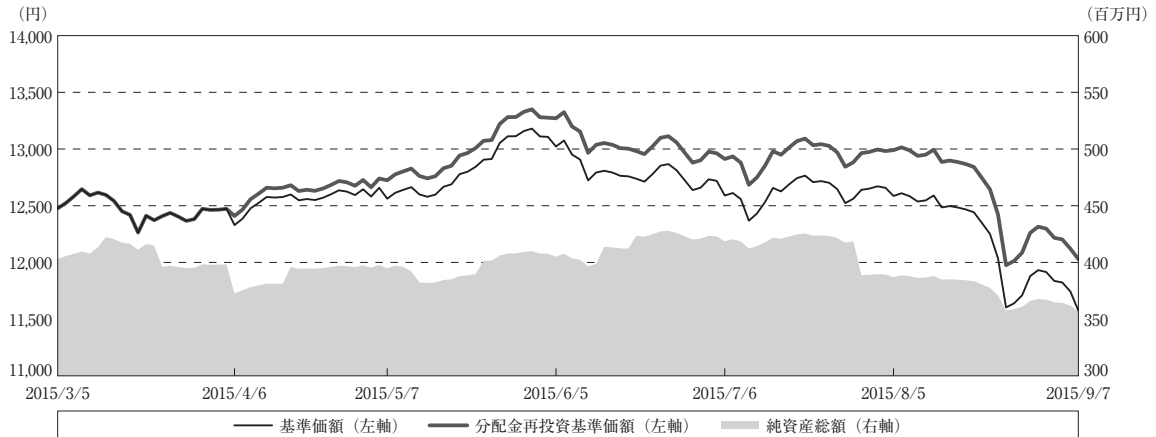
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2015年3月6日～2015年9月7日）



第30期首：12,477円

第35期末：11,575円（既払分配金（税込み）：480円）

騰落率：△3.6%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2015年3月5日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期末（2015年9月7日）のLM・成長国ブルーチップ社債ファンド（毎月分配型／為替ヘッジなし）（以下、当ファンド）の基準価額は11,575円（分配金控除後）となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス3.6%（分配金再投資ベース）、基準価額は422円（分配金込み）下落しました。公社債利金を手堅く確保しましたが、新興国社債市場の利回りの上昇（価格は下落）を受けて、公社債損益がマイナスとなったことが主に影響し、基準価額は下落しました。

1万口当たりの費用明細

（2015年3月6日～2015年9月7日）

項 目	第30期～第35期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	円 106	% 0.845	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
（投信会社）	(51)	(0.413)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(52)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	6	0.046	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.020)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷等費用）	(2)	(0.019)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
合 計	112	0.891	
作成期間の平均基準価額は、12,564円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2010年9月6日～2015年9月7日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2012年10月5日です。

	2012年10月5日 設定日	2013年9月5日 決算日	2014年9月5日 決算日	2015年9月7日 決算日
基準価額 (円)	10,000	11,482	12,557	11,575
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	445	960	960
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	19.2	18.4	△ 0.5
純資産総額 (百万円)	100	423	673	356

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2013年9月5日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

投資環境

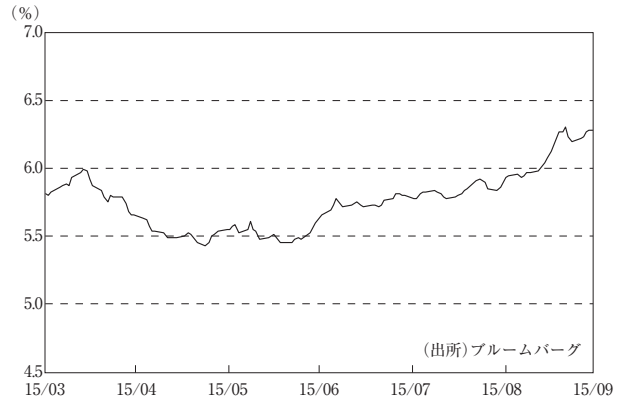
（2015年3月6日～2015年9月7日）

当ファンドが主要投資対象とする新興国社債の動きを示すJPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは上昇（価格は下落）しました。期の前半は、下落基調となっていた原油価格に持ち直しの動きが見られ、投資家のリスク回避姿勢が緩和したことから、JPモルガンCEMBIブロード指数の利回りは低下（価格は上昇）しました。また、市場の注目を集めていたペトロブラス（ブラジルの国営石油会社）の決算発表の内容が肯定的に受け止められ、ブラジルとペトロブラスに関連する資産の価格が上昇したことも、新興国社債市場を下支えしました。期の半ばは、欧米債券利回りの急ピッチの上昇を受け、利回りは上昇しました。ギリシャの債務問題が混迷し、ギリシャがデフォルトに陥る可能性が意識されたことも、利回りの上昇要因となりました。期の後半は、原油価格が再び下落基調を強めたことや、中国人民銀行が人民元の切り下げを発表し、中国景気の先行き不透明感が広がったことなどから、利回りは引き続き上昇しました。当作成期末にかけても、中国景気への懸念などから世界的に株式相場が下落し、リスク回避姿勢が強まったことから、利回りは上昇しました。

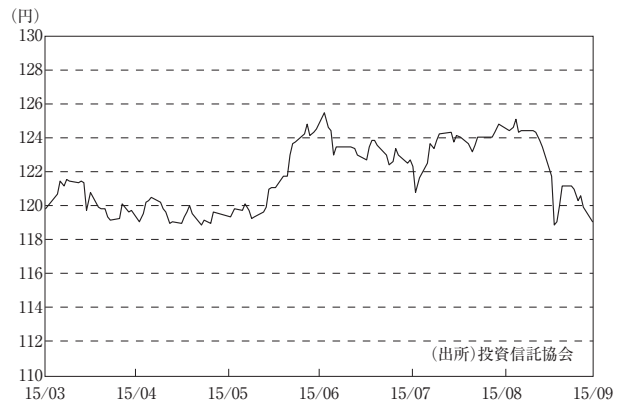
当作成期の米ドル・円相場は、若干の米ドル安・円高となりました。期の前半は、米連邦公開市場委員会（FOMC）を受けて、米連邦準備制度理事会（FRB）は政策金利の引き上げを急いでいないとの見方が強まったことから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。その後も、米小売売上高や鉱工業生産などの経済指標が予想を下回り、米国景気の先行きに対して慎重な見方が広がったことから、米ドルは対円で上値の重い展開となりました。期の半ばは、米国国債利回りの急速な上昇などを背景に、米ドルは対円で上昇しました。イエレンFRB議長が年内の利上げに前向きな姿勢を示したことも、米ドルを押し上げる要因となりました。しかし、ギリ

シャがデフォルトに陥るとの懸念が強まると、リスク回避に伴う米ドル売り・円買いが優勢となりました。期の後半は、ギリシャの金融支援交渉に進展の動きが見られたことから、米ドル買い・円売りが優勢となりました。また、中国人民銀行による人民元の切り下げを受け、米ドルが人民元に対して上昇したのに連れて、米ドル買い・円売りが強まる場面も見られました。しかし、その後は中国景気への懸念などから世界的に株安が進む中、リスク回避に伴う米ドル売り・円買いが進行しました。

JPモルガンCEMBIブロード指数（利回り）の推移



米ドル／円相場の推移



当ファンドのポートフォリオ

（2015年3月6日～2015年9月7日）

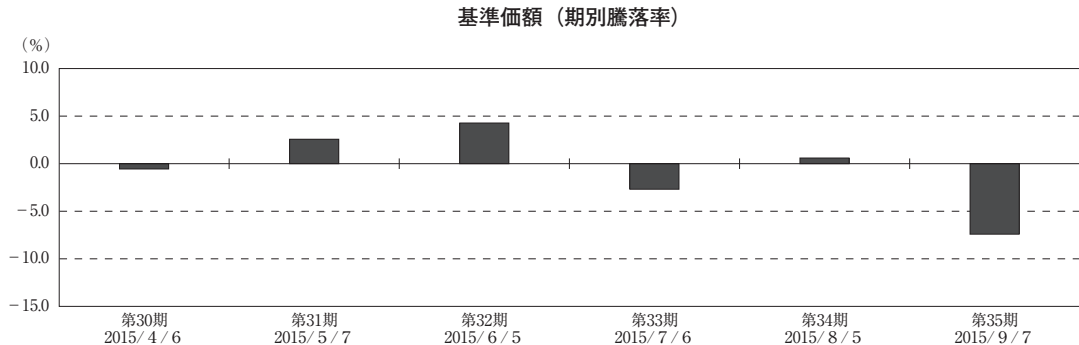
当ファンドは、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に努めました。また、当ファンドの実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当ファンドの運用においては、業種別では石油・ガス、金属・鉱業などへ引き続き厚めに配分しています。これらは新興国にとって戦略的な産業であり、国のサポートを受けやすいセクターであると判断しているためです。また、公益、工業等などについても、厚めの配分としています。地域別では、アジアや中南米地域へ厚めに配分しています。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2015年3月6日～2015年9月7日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率及びリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2015年3月6日～2015年9月7日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第30期	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期
	2015年3月6日 ～2015年4月6日	2015年4月7日 ～2015年5月7日	2015年5月8日 ～2015年6月5日	2015年6月6日 ～2015年7月6日	2015年7月7日 ～2015年8月5日	2015年8月6日 ～2015年9月7日
当期分配金	80	80	80	80	80	80
（対基準価額比率）	0.645%	0.633%	0.611%	0.631%	0.632%	0.686%
当期の収益	50	52	80	37	49	43
当期の収益以外	29	27	—	42	30	36
翌期繰越分配対象額	3,074	3,049	3,234	3,195	3,164	3,128

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

米国の金融政策については、FRBは2015年7月開催のFOMCにおいて事実上のゼロ金利政策の維持を決定しました。声明文では、「米国経済の緩やかな拡大が続いている」との認識が改めて示されました。FRBは今後、経済動向を見極めながら、利上げの時期を慎重に探っていくものと思われます。

長期的な投資クラスとしての新興国社債は魅力的であると考えており、投資魅力のある銘柄を今後も組み入れていく所存です。ただし、バリュエーションや、新規社債発行の増加に伴う需給バランス、ビジネスモデルの有効性などを考慮し、銘柄やセクターの選択において極めて慎重な投資スタンスを維持する方針です。

当ファンドにおきましては、これまでと同様に、主に「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指した運用に注力していく所存です。

お知らせ

＜主な約款変更に関するお知らせ＞

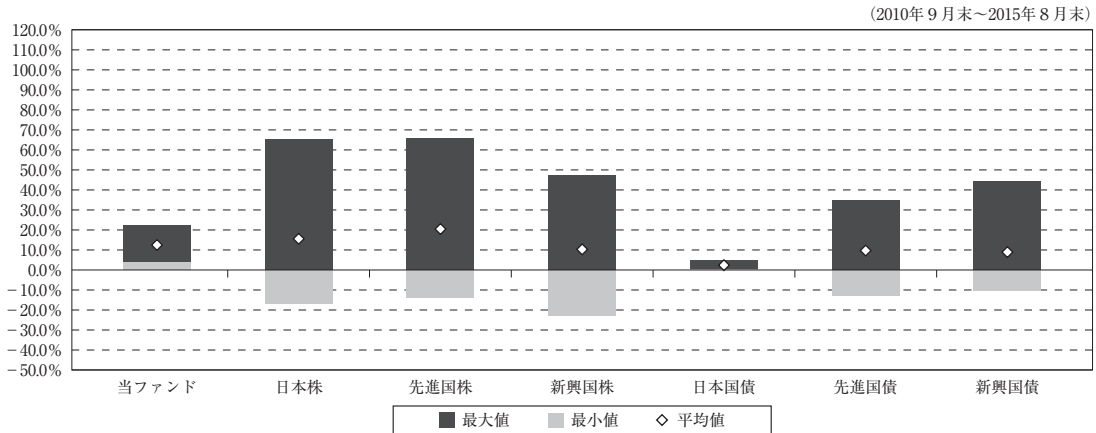
投資信託に関する法令・一般社団法人投資信託協会規則等の変更に伴い、信用リスク集中回避のための投資制限の規定を新設し、信託約款の一部に所要の変更を行いました。
 （変更日：2015年6月4日）

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	平成24年10月5日～平成34年9月5日まで	
運用方針	主に新興国の企業が発行する米ドル建ての社債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	新興国の企業が発行する米ドル建ての社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月5日。休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	22.4	65.0	65.7	47.4	4.9	34.9	44.1
最小値	3.7	△17.0	△13.6	△22.8	0.4	△12.7	△10.1
平均値	12.5	15.5	20.5	10.3	2.4	9.6	8.8

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2010年9月から2015年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2013年10月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、ヘッジなし・円ベース）

日本国債：シティ日本国債インデックス（円ベース）

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：シティ新興国市場国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します（TOPIX：株式会社東京証券取引所、MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックス：MSCI Inc.、シティ日本国債インデックス、シティ世界国債インデックス、シティ新興国市場国債インデックス：Citigroup Index LLC）。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2015年9月7日現在)

○組入上位ファンド

銘柄名	第35期末
LM・成長国ブルーチップ社債マザーファンド	100.9%
組入銘柄数	1銘柄

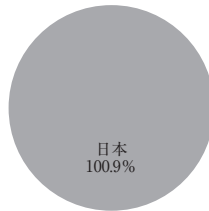
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

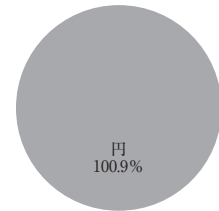
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

純資産等

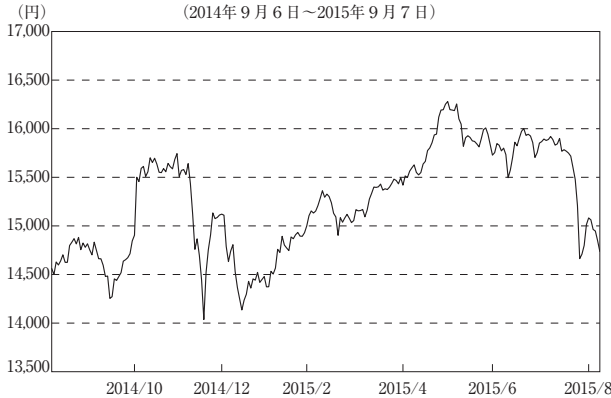
項目	第30期末	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末
	2015年4月6日	2015年5月7日	2015年6月5日	2015年7月6日	2015年8月5日	2015年9月7日
純資産総額	372,738,361円	394,783,091円	405,054,403円	418,662,377円	387,062,476円	356,717,687円
受益権総口数	302,328,057口	314,279,199口	311,058,900口	332,529,566口	307,537,129口	308,192,198口
1万円当たり基準価額	12,329円	12,562円	13,022円	12,590円	12,586円	11,575円

* 当作成期間（第30期～第35期）中における追加設定元本額は59,261,476円、同解約元本額は74,102,556円です。

組入上位ファンドの概要

L M・成長国ブルーチップ社債マザーファンド

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2014年9月6日～2015年9月7日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用)	円 6 (6)	% 0.042 (0.042)
合計	6	0.042

期中の平均基準価額は、15,285円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

【組入上位10銘柄】

(2015年9月7日現在)

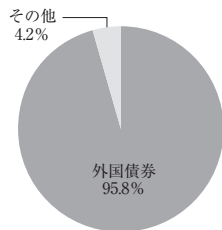
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
1	PERTAMINA PERSERO PT 4.3% 2023/5/20	普通社債券	米ドル	インドネシア	4.6%
2	QTEL INTERNATIONAL FIN 4.75% 2021/2/16	普通社債券	米ドル	バミューダ	4.3
3	HUTCH WHAMPOA INT 12 II 3.25% 2022/11/8	普通社債券	米ドル	ケイマン島	3.7
4	INVERSIONES CMPC SA 4.5% 2022/4/25	普通社債券	米ドル	チリ	3.2
5	EUROCHEM M & C OJSC VIA 5.125% 2017/12/12	普通社債券	米ドル	アイルランド	3.1
6	MARFRIG HOLDING EUROPE B 6.875% 2019/6/24	普通社債券	米ドル	オランダ	2.9
7	CEMEX FINANCE LLC 9.375% 2022/10/12	普通社債券	米ドル	米国	2.8
8	CITIC LTD 6.375% 2020/4/10	普通社債券	米ドル	香港	2.7
9	LUKOIL INTL FINANCE BV 6.656% 2022/6/7	普通社債券	米ドル	オランダ	2.7
10	BBVA BANCOMER SA TEXAS 6.75% 2022/9/30	普通社債券	米ドル	メキシコ	2.7
	組入銘柄数		46銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

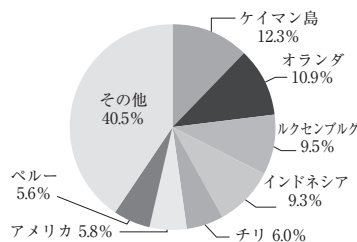
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

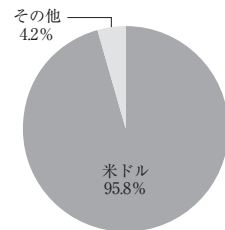
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。